

ワイアンドット国営カジノで 高効率・高品質な監視を実現



デニス ポンティエール氏
ワイアンドット・トライバル社CEO兼社長

オクラホマ州ワイアンドットに新しくオープンする、ワイアンドット国営カジノのセキュリティシステムの計画段階で、ワイアンドット国営カジノ情報サービス部長のスコットギャレット氏は、国家カジノ委員会が定めているレベルをはるかに超えるセキュリティシステムを構築したいと考えた。ハイレベルなセキュリティシステムを備えることで、安心なカジノという印象を与えたかった。つまり、カメラを設置し、施設内部および外部を隅々まで監視することで、顧客に安心感を与え、犯罪行為を防ぐのだ。さらに、近隣に位置する、ワイアンドット初の娯楽施設であるラッキータートルカジノの監視と制御をも行うことで、施設の設備や人員の重複を削減しようと考えた。また、同氏は、ワイアンドットカジノに導入するシステムは、豊富な機能を備え、また、将来的システム拡張が可能であり、高品質・高性能な技術を伴っているものでないといけないとも考えていた。

そんなギャレット氏が見つけたソリューションは、パナソニックの映像監視と記録システムである。「パナ

ソニックのソリューションは、実現したいと考えていた機能や用途に全て応えてるものであった。他社のシステムも数多く検討したが、これほどまでに効果の出るシステムは他になかった」と同氏は語る。さらに、「パナソニックのシステムは、入り口から出口まで全てをより自動化された形で管理でき、このことが我々の監視業務の効率化に大きく貢献した」と続ける。

照明環境に適合、 画質を損ねない

ワイアンドットカジノが様々なパナソニックカメラシステムを選んだ根拠は、高画質と様々な照明環境への適合能力にあった。今回のシステムには、スーパーダイナミックⅢ画像処理技術を採用したパナソニックの耐天候型屋外用ドームシステムWV-CW964、30倍ズームの室内用WV-CS954、ABS技術対応の耐衝撃ドームカメラWV-CW484とWV-CW474AS、ミニドームカメラなどが含まれていた。ギャレット氏によると、パナソニックのスーパーダイナミックⅢ技術とABS技術が、カメラ選択時に大きく影響したらしい。

ギャレット氏は「SDⅢ最大の利点は同じ場所で様々な照明環境に適合し、画質を損ねないことだ。様々な照明環境を使用するカジノにとって、これは重要な要素である。これにより、画質を損ねず、不正をいち早く発見をし、さらに施設全体の隅々まで人の追跡ができる。当社はパナソニックのセキュリティソリューションに対し、満足している。物理的な調整や機器が不要で、コントローラーだけで追跡し、指示や調整を実行できる。他社製カメラは当社が求める機能性と特徴の総合力を提供していなかった」と述べた。

また、ギャレット氏は「パナソニックのSDⅢカメラで撮影した映像画質はメガピクセルカメラと同じぐらい良い。SDⅢドームカメラから撮影した映像は非常に精細で、テーブルのチップまではっきり確認することができる。一方で、施設周辺に設置し

たパナソニックミニドーム固定カメラはカジノ各階の特定区域の監視を絶えず続けている。問題が発生した際には、従業員がズームを拡大して大きい、しかも高精細な映像で細部まで確認することができる。この技術が本当に役に立っている」と語り続けた。

先進的機能と性能、 簡単操作で迅速対応

235台以上のカメラを構築したパナソニックビデオ監視システムは、ワイアンドットカジノの周辺地域と内部をしっかりと監視しているため、侵入がほぼ不可能である。カメラ映像の制御は、パナソニックマトリクスシステム850を使用し、40台のDVRで記録した。このマトリクスシステムが入出力機能、高度な編集機能を持っており、カメラを幅広く編集できるため、同システムへの導入



■問題を再生および分析するため、カジノの全カメラ映像は30fpsで記録する。

を決定した。数千台のカメラを管理するマトリクスシステムの先進的な機能と能力を簡素化するため、対応する管理制御ソフトウェアも追加した。同ソフトウェアは、グラフィックユーザーインターフェース(GUI)を使用し、問題発生時は、簡単なアイコン操作で迅速な対応ができる。ラッキータートルカジノでの教訓もあり、これらの機能はカジノの運営管理上極めて重要だった。以前のマトリクススイッチは拡張できずプログラム機能も限られていた。



■SDⅢドームカメラにより、テーブル上のチップまでも鮮明に見ることができる。



■ワイアンドット国営カジノの外部と内部に設置した235台のパナソニック映像監視カメラの映像。



■ワイアンドット国営カジノのセキュリティスタッフがカメラの照度条件を自動的に調整する。



■ワイアンドット国営カジノの情報担当取締役スコット・ギャレット氏が、パナソニックのコントローラーとソフトウェアで全カメラ機能、モニタ表示、記録機能を制御している。

コストを効果的に削減、 高画質を高圧縮保存

ワイアンドットカジノにセキュリティシステムが設置され、軌道に乗った後、光ファイバを使用して隣接のラッキータートルカジノのカメラをマトリクスシステムにつなぎ、施設間をビデオ信号と双方向データを信号劣化なしで伝送できるようにした。この構成により、人員と費用を効果的に削減できることを証明し、監視や操作を一段とまとまりのあるシステムとして管理できる。またギャレット氏は、「組織内の監視チームと物理セキュリティチームの間をより密接にできたのも思いもかけない成果だった」と説明する。「セキュリティ業務はチームで協力していくものだ。例えば監視チームが駐車場に衝突や客同士の口論を発見した時、セキュリティチームに連絡し問題を確認する。同様に、駐車場の従業員が問題を発見した時、セキュ

リティチームに調べてもらい、監視チームに知らせる。当社のセキュリティ担当責任者と監視操作側の情報交換が非常に良い」とギャレット氏が語った。

また、ギャレット氏は「ワイアンドットカジノは、危険なラスベガスなどにあるわけではなく、比較的安全なオクラホマ州にあるが、それでもカジノ運営を妨げるような犯罪行為などを受けやすいというのは変わらない。事件が起こった際に、映像の確認と分析を助けるため、カジノの全カメラ映像は30fpsで記録する。ギャレット氏は「我々はリアルタイムですべてのことを最高画質で録画できる。記憶容量を最大化し、メモリの拡張も簡単だ」と語った。

結び

ギャレット氏は、「全体的な評価として、パナソニックの映像監視ソリューションは、他社のシステムよ

り具体的に人への負担を削減できるシステム能力を提供している」と語った。オクラホマのワイアンドットカジノへの納入が奏功し、カジノ経営者がパナソニック映像監視システムに非常に満足したことから、現在カンザスシティで建設中の3番目のワイアンドットカジノへも導入すると見ている。「当社の新しいカンザスシティ施設は、小規模施設で床面積が狭いので、できるだけ効率的にスペースを利用することが重要」とギャレット氏が語った。

物理的な位置にかかわらず、ずっと安全で安心な環境をお客様と従業員に提供するのがギャレット氏の主要な目的である。ワイアンドット・トライバル社はパナソニックシステムソリューションズ社で同社の目標を満たすために最適なパートナーを見つけたと言える。

AMS